



ベア方式・規模については真摯に協議!!

「18 春闘」第 1 回交渉 開催

ジェイアール・イーストユニオンは3月5日(本日)、2018 春季生活闘争の取り組みとして申5号「賃金引き上げの要求について」(2月13日提出)、第1回交渉を開催した。組合は、満額回答をめざし要求の趣旨説明をおこなった。

【申5号 申し入れ内容】

1. 賃金引き上げ等について
 - (1) 定期昇給を実施すること。
 - (2) 2018 年 4 月 1 日の定期昇給後の基準内賃金を、一人平均 3,000 円引き上げること。
 - (3) 契約社員についても、社員に準じて賃金を引き上げること。
2. グループ会社に対する契約単価を見直し、グループ会社社員の賃金引上げに寄与すること。
3. 上記申し入れに対する回答期限を、平成 30 年 3 月 15 日までにすること。
エルダー社員については 4 月 1 日より賃金改善実施のため要求なし。

組合

前段、ベアの実施にあたっては成果配分、社会状況の変化、生活維持向上分などを考慮、毎年その都度ベアの方式と規模は労使交渉で行うとの基本認識を確認。

当社グループの第3四半期連結決算は、増収増益、営業収益は6期連続の増収かつ第3四半期としては過去最高また全ての利益が過去最高である。

少子高齢化、東京圏への人口集中、地方経済の活力減退など環境の変化を乗り越え、成長し続ける企業体質を創り上げなければならない。更なる安全とサービス追求、収益力向上への挑戦を労使ともに目指して行かなければならない。

業務の効率化等に頑張っている社員の期待に応えるべく組合として業績の公正な配分を求め申し入れの満額回答を強く要求した。

会社

要求の趣旨は、受けたまわった。現状認識としてベアに関しては、中長期的に生産性向上に関する成果の配分を加味しながら労使間の協議を大切に決定していきたい。当社の基本給は、さまざまな要件を含んでいる。景気動向や取り巻く状況を総合的に勘案している。この間、大雪や安定輸送に取り組んだ社員に感謝している。スケジュール感を大切に労使間の協議を大切にして早期合意に臨んでいきたい。ご協力をお願いする。

本春闘は、次の30年に向けた「変化点」である。

TICKET TO TOMORROW(未来のキップを、すべてのひとに。)